

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 5 日

事務事業名		雨引の里と彫刻展補助事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020202000625
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け						生涯学習課	
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進						生涯学習課	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進						グループ	
手段名		O2 ②親しみを感じる文化振興の推進						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	03	01	00	単年度繰返し (平成8年度~)		
							文化振興事業		
法令根拠	雨引の里と彫刻展補助金交付要項				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
旧大和村から継続している隔年開催の芸術作品の展覧会である。開催の約1年前から月1回開かれる実行委員会に同席し、行政としての立場から適切な助言をすること、実行委員会と関係者との連絡調整、補助金交付事務を執行することが主な職務である。 開催毎に時期、会場となる地区が異なり、前回(12回目)の展覧会は令和4年10月10日~12月11日の期間で東飯田・西方・大曾根・本木・阿部田地区で開催した。令和3年10月から毎月の会議に出席し、開催に向けた準備を行った。 次の開催時期は令和7年の予定とのことである。	実行委員会への出席 周知、広報、問い合わせ窓口の準備 開催地区区長、作品展示場所の地権者、警察・行政機関等との連絡調整補助金交付事務 イベント等の活動支援、シトラスへのインフォメーションセンター設置(開催期間中) オープニングセレモニー、クローリングパーティへの招待状を市長・副市長・教育長へ直接持参、また議員への招待状を議会事務局へ依頼(詳細については事務引き継ぎ書を参照)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会への出席 ・周知、広報、問い合わせ窓口 ・開催地区区長、作品展示場所の地権者、警察・行政機関等との連絡調整 ・補助金交付事務 ・イベント等の活動支援 	会期日数	日	63.00	0.00	0.00	60.00	0.00
	実行委員会開催数	回	8.00	0.00	7.00	8.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市民及び市外鑑賞者等	市民		37,653.00	36,794.00	36,647.00	36,500.00	35,897.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
日常生活の環境へ芸術作品を展示することにより芸術鑑賞の機会を身近なものにする。	参観者		8,000.00	0.00	0.00	8,000.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0		
		県支出金 千円	0	0	0		
		地方債 千円	0	0	0		
		使用料・手数料 千円	0	0	0		
		その他 千円	0	0	0		
		一般財源 千円	1,000	0	0		
		事業費計(A) 千円	1,000	0	0		
	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
		合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	令和7年度開催に向けての準備 毎月1回の実行委員会に出席	開催に向けての準備 地権者の割り出し 関係機関との連絡調整 補助金交付	特になし

事務事業名	雨引の里と彫刻展補助事業	事務事業No.	20202000625	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
旧大和村に創作活動の拠点を置く彫刻作家たちが石材から芸術作品を生み出す過程で、地域の方々に自分たちの活動を知ってもらおうと共に地域における芸術への価値観を根ざしていきたいという思いで発足した事業。作家自らが企画立案し、実行委員会として組織を立ち上げ運営している。平成27年から共催となった。開始当初から20年以上経過し、地域に対し知名度も上がってきている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
作家との交流などが無いと、何をイメージしたものなのか分からないなど、作品の意図が伝わりにくい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市独自の魅力ある芸術文化活動機会の充実として存在価値がある。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 日常生活の環境に芸術作品を展示することで、芸術鑑賞の機会が身近なものとなる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 実行委員会の調整において、企画、観光部局が参画すれば二次的な波及効果も期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 一流の芸術家たちの作品を身近に感じられる貴重な機会であり、地元根付きつつある芸術に親しむ場を失う可能性が高い。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 雨引の里と彫刻実行委員会が設置されており、他の事業との統廃合、連携は困難である。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 作家の高齢化や実行委員会の人数減少の傾向があり、以前より業務量が増加している。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 広く周知することで、遠方からの来訪者も多い。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	作家の高齢化などにより、以前は2年に1度だった開催間隔が長期化し、今回は3年半ぶりの開催となった。現状のままだと開催間隔のさらなる長期化、規模の縮小などが懸念される。今後の開催については、市と実行委員会で検討を重ねていく必要がある。																												
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 実行委員会の調整において、企画、観光部局に声掛けをしていく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×		低下			×					×
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上		○																											
	維持			×																										
	低下			×																										
					×																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																												
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認